

緊急提言

被ばくから身を守るために

映画と講演



Michel Fernexさん

ミッシェル フェルネックス

講演 **Dr.med. Michel Fernex**

通訳 竹内雅文

『終わりのない惨劇』 記者

2012年 5月 23日 (水) 18:45~21:00

開場 18:15 開演 18:45 映画 18:50~ 講演 19:50~ 終了後、サイン会

会場：新宿区角筈区民ホール

新宿区西新宿4丁目33番7号 TEL:03-3377-1372 FAX:03-3377-1073

資料代：1,000円

※ 映画 <真実はどこに?> (原題:核論争)

—WHOとIAEA 放射能汚染を巡って—

ベラルーシ医療施設の子どもたちが語る映像、WHOの報告会議の様相などが織り混ぜられた見応えのあるドキュメンタリー映画。フェルネックスさんはじめ、医師・研究者たちが登場。

ウラディミール・チェルトコフ監督、エマヌエラ・アンドレオリ、ロマーノ・カヴァッツニ助監督作品、フェルダ・フィルム、2004年、51分



ミッシェル・フェルネックス他著・竹内雅文訳

『終わりのない惨劇 チェルノブイリの教訓から』

(緑風出版 2012年)

※ サイン会を行います。

プロフィール Michel Fernex

1929年ジュネーヴ生まれのスイス人。医学博士。ジュネーヴ、パリ、ダカール、バーゼルで医学を学んだ後、セネガル、マリ、ザイール、タンザニアなどアフリカ諸国に勤務、またフランス、スウェーデンでも勤務し、寄生体学、マラリア、フィラリア症の問題で、世界保健機関と15年間、共同作業を行う。スイス・バーゼル大学医学部教授に任命。臨床医学、及び熱帯医学専門医。66歳で退職。以後、IPPNWの会員、またNPO「チェルノブイリ/ベラルーシのこどもたち」(ETB)を仏緑の党創立メンバーで反核の闘士であった夫人のソランジュ・フェルネックスと2001年に創設。また2007年から、ETB、IPPNW、CRIIRAD、仏脱原発ネットワークなどとWHO独立のためのキャンペーン(Independent WHO)を組織。

※ 主催 / 〇申し込み・問い合わせは、高木学校にお願いします。

内部被曝研(市民と科学者の内部被曝問題研究会) 医療部会

TEL : 058-296-4038 E-mail : zazendoh@ccn.aitai.ne.jp

高木学校

TEL : 03-3353-2928 E-mail : takasas@ja.main.jp

※ 交通案内

- ・バス 新宿駅西口 京王バス「S01新都心循環」(京王デパート前21番のりば) パークハイアット東京下車徒歩1分
- ・JR線 新宿駅下車徒歩15分
- ・地下鉄 都営12号大江戸線 都庁前下車(A5出口)徒歩10分
- ・私鉄 京王新線 初台駅下車(オペラシティ出口)徒歩10分